

日本福祉大学 第23号

松本オフィス通信



- No.1 学生奮戦記
- No.2 ようこそ！日本福祉大学へ！
- No.3 社会福祉を学んでみませんか？
- No.4 ふくしのお仕事紹介／
最前線で働く人にエールを！
- No.5 教えて先輩！／NIPPUKU NEWS
- No.6 入試情報

この度の令和2年7月豪雨災害により被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

学生奮戦記

コロナ禍で前例のない生活が強いられた前半期。この状況でも学生たちは今できることを考え、目標に向かって進んでいます。今回は在学生2人の奮闘をご紹介します！

介護福祉士と社会福祉士のW取得を目指して

健康科学部 リハビリテーション学科 介護学専攻 3年
南澤 亜妃 さん (塩尻志学館高校出身)

ふくしのイメージ

高校の時は福祉といえば「高齢者」だったり「介護」、「優しくすること」というイメージでしたが、大学での専門的な授業内容や実習を通して福祉とは「地域に暮らす者、高齢者、子ども、障がい者、全ての人が暮らしやすくありのままに生活することができる」といったイメージに変わりました。



介護実習を通じて

2年生までに3回の介護実習を行い、特に2年生後期に行った老人保健施設での実習は失語症などの様々な病気に罹患した利用者の方を担当し、介護技術の実践、介護計画の作成・実践を行いました。言語以外の表情や仕草、声の抑揚などから利用者の方の意思を読み取ることの重要性を学び、今までいかに言語という道具に頼ってコミュニケーションをとっていたかと、気づかされることができました。

また、実習中は毎日施設内で利用者の方とお逢いしていたこともあり、その方々を理解できているつもりでしたが、実習終了後に振り返ってみると社会的背景や性格など把握できて

いませんでした。もっと情報を集めることができたら、より良い支援方法があったのではないかと課題も残りました。その他、利用者の方との距離感のとり方や関わり方など失敗を通して今後の課題がはっきりと見えた実習でした。

Wライセンス取得に向けて

介護学専攻は社会福祉士、介護福祉士の国家試験合格率が高いです。1年次から定期試験の問題に国家試験の過去問が出題されたり、模擬試験が行われたり早い段階から、国家試験に触れることができます。また、各担当教員と年に2回程度の個人面談が設けられ、勉強方法や生活について考える機会があります。先生方との距離が近く、専門の資格を有した方が多いので、学生の性格や傾向、過去の背景を大切にアドバイスや指導をしてくれ、安心して国家試験を迎えられることができそうです。

大学生活での成長

大学生活を通し、自分と向き合う機会が多くあり、自分についてより知ることができるようになってきたと思います。大学での授業で性格を振り返る時間はありませんが、友人との会話で自分の

性格について振り返る機会が多くありました。自分の長所と短所を明確にして、自分の強みを活かせるにはどのような活動を行ったらよいか、短所をどのようにカバーしたり改善したりしていけばよいか考えられるようになりました。また多くの方の意見を聞くことで視野が広がり、自分では考えられなかった方向性で物事が考えられるようになりました。

今後の目標

子ども食堂など子どもと地域に関することや、地域おこし協力隊の方々が行っている地域交流にも興味があり、将来は社会福祉協議会への就職を目標に日々勉強に励んでいます。

また、現在、社会福祉士課程を履修しています。介護保険制度や医療保険について問われたらすぐに回答できるように知識を付けたいと考えていますが、自分の知識の無さに焦ってしまうことも正直多くあります。何から取り組むべきなのかしっかり考え、時には立ち止まり、少しずつ前に進んでいきたいと思っています。



特別育成プログラムでの学びを活かして

社会福祉学部 社会福祉学科 医療専修 3年
山口 泰知 さん (飯田風越高校出身)

スカラシップでの学び

日本福祉大学の社会福祉学部には1学年でおよそ400名が在籍しています。その中でも20名ほどの学生がスカラシップ制度という入試で合格し、福祉分野のリーダーを育成する特別プログラムを受けています。私自身、深く印象に残り、これからの学びに活かすことができると感じたスカラシップでの活動を二つ書かせていただきます。

一つ目は山形県最上町で行うフィールドワークです。最上町は少子高齢化が進む中山間地域の一つではありますが、行政と住民が一体となって地域を盛り上げようとする姿が印象的な町でした。

最上町では廃校を再利用した飲食店の経営や、医療・保健・福祉が一体化された施設の運営など、豊かなアイデアに溢れています。実際、フィールドワークでは町内での飲食や見学、最上祭りの最上町音頭や仮装行列などにも参加させていただき、多くの刺激を受けました。この活動で、行政が住民の声を聞き、暮らしを充実させることの重要性や、知恵を絞り発想を転換させることの必要性を学びました。



二つ目は社会福祉学部新入生を対象に実施される春季セミナーの運営を行う活動です。(今年度は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが…)。2019年度からスカラシップ生の2、3年生が上級生アシスタントとして企画・運営を任せ

れるようになりました。新入生は400名ほど入学するため、その大人数を一度に動かすにはどういった工夫が必要なのか、配慮が必要な新入生をどう支援するのか、新入生がどうしたら楽しめるかといったことを中心に考えてプランニングをします。そのプランを実行することは予想以上に困難で、必ずしもすべてが計画通りに進むということではなく、その度に情報共有をし、柔軟に対応することを心がけました。この活動を通して、計画実行するまでを正確に想像し、臨機応変に動くことの難しさを改めて実感しました。成功の達成感や、学年を超えた交流は非常に有意義な経験となりました。

将来の夢について

私が社会福祉学部医療専修に入学した理由は、将来、医療ソーシャルワーカー(MSW)になることを目指したからです。高校3年生の夏、進路に迷っていた時に、病院で実際に働いているMSWの方とお会いする機会がありました。働いている時の苦労ややりがいといったお話を聞き、興味を持ったのがきっかけでした。

医療専修と聞くと医療関係のことを専門的に学ぶだろうと思う方が多いと思いますが、実際はそうではありません。日本福祉大学の教授陣は高齢者や児童、障がいや精神保健といった様々な福祉分野の知識に長けており、医療福祉以外のことも幅広く学ぶことが出来ます。大学では実際に病院で働いているMSWの方がゲストで講義を

してくださったこともあり、目指そうという気持ちがより一層高まっています。

現在は、講義(国家試験)以外の勉強(第一志望は市立病院のMSWのため公務員試験)にも取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で大学の図書館が利用できていませんが(執筆当時)、利用可能になったら友達と勉強しようとして約束しています。誰かと一緒に目標に向かって頑張ることで自分の成長を望めるとしています。

高校生の皆さんへ

コロナの影響で、一つ一つの命の大切さや友達と講義を受けたり遊んだりすることの有難さを改めて実感した人が自分を含め大勢いるはずですよ。こういった状況下であるからこそ、できることを考え、実行する力が必要です。皆さんの中で進学や将来のことで悩んでいる人はぜひ一度、周りの誰かに相談してみてください。

来年の春、皆さんと同じ大学で学べることを楽しみにしています。



ようこそ！
日本福祉大学へ！

もっと広めたい！長野県の魅力！

子ども発達学部 心理臨床学科 障害児心理専修(現 教育・心理学部 心理学科)
3年 緑川 文香 さん(長野西高校出身)



長野県人会とは？

みなさん、こんにちは。長野県人会長の緑川です。
コロナウイルスの影響で、地元長野市に帰省できていないので、長野県が恋しくてたまりません。自粛中は下宿がある美浜町で趣味の書道や資格取得、アルバイトなどをして日々過ごしていました。

さて、私は昨年から長野県人会長を務めさせていただいています。長野県出身の仲間と一緒に学内で活動しながら、長野県の魅力を再確認できる経験も沢山させていただきました。



昨年の6月には県人会メンバーで、阿智村で行われた「ギネス世界記録チャレンジ！同時に天体観測を行った最多人数」に参加し、全国的にも有名な星空を見てきました。様々な職種に携わる長野県関係者の方とお会いする中で、地元である北信地域のことだけでなく、他地域での魅力も発見することができました。

長野県人会は、毎年秋に行われる大学祭で模擬店を出店しています。昨年は、信州の魅力をアピールしながら、名産品のりんごやきのこ汁等を販売しました。みなさんが美味しく食べている姿を見ることができて、とても嬉しかったです。また、台風19号の災害支援として募金箱を設置したところ、たくさんの方々から励ましの声とともに支援金にご協力いただいたことにも感謝しています。ありがとうございました。

その他にも、学年学部関係なく交流できる、クリスマス会や新年会など県人会のイベントを随時開催しています。福井・石川県人会との交流も毎年あり、ある年は運動会、ある年は合同BBQを開催しています。イベント企画だけでなく、就職相談会や新たな人脈づくりなど、先輩や後輩、教職員の方々との親交を深めていく中で、自分自身も少しずつ成長できていると感じています。



辰野町フィールドワークに参加

長野県人会での企画以外にも、辰野町でのフィールドワークに参加し、川島小学校の運動会やホテル祭り、紅葉祭りにもスタッフとして参加させていただきました。活動中、地域の方と交流する中で、長野県ならではの人の温かさに触れることができ、より一層、長野県への思いが強くなりました。

辰野町は自然豊かで空気や野菜、水が美味しい所です。どのように地域の魅力や情報発信していけば、辰野町のことをもっと多くの人に知ってもらえるのかなど、自分たちなりに課題に向き合う機会もあり、とても勉強になりました。学生同士で想像を膨らませて話し合ったり、考えたりする時間はとても楽しかったです。

また、地域の小学生と交流する機会もあり、将来のための勉強にもつながりました。

私は将来、特別支援学校の教員になりたいと思っています。アルバイトやボランティア活動、フィールドワークで障害児と関わり、以前より一層、障害児に関わる仕事に就きたいと強く思うようになりました。大学での障害児教育の座学に加え、アルバイト先での実践は、日々勉強になります。教員採用試験まであと1年ですが、試験対策の勉強をしつつ、残りの大学生活を楽しみたいと思っています。

新入生の皆さんへ

今年は異例の年ということで、大学祭も中止になってしまいましたが、長野県出身者みんな、まだまだ知らない長野県の魅力を発掘していくと共に、それを愛知県から発信していきたいと考えています。時間があるときにふらっと顔を出していただくだけでも、大歓迎です。長野県に帰省するとホッとするように、大学内でも同郷同士がホッとできる関係を築いていきたいと考えています。

オフィス通信を読んでいただいている皆さんも私たちと一緒に、大学生活の楽しい思い出をつくりましょう！



4年間の学びで、人生に大きな輝きを！頑張れ、新入生!!

Fight!

2020年4月、長野県から69名の新入生が入学しました。

今年はコロナウイルスの影響で入学式は中止となり、オンライン授業による大学生活がスタート。前例のない大学生活の始まりとなりましたが、1年生は熱い志のもと、大学での学びや一人暮らしに奮闘しながら頑張っています。

今回は一年生の皆さんに大学での目標・抱負をお聞きましたので、その一部をご紹介します。

松本オフィスも皆さんの4年間で全力でサポートしていきます！夢に向かって一緒に頑張りましょう！！

多くのスポーツを体験してスポーツの良さ、楽しさを発信する。

スポーツ科学部
齋藤

子どもにたくさんの経験や挑戦のきっかけをつくれるような教員になりたいので、私自身も大学で色んな経験をして自分の力をつけたい。

教育・心理学部
学校教育コース
東城

本当に自分がやりたいことをこの4年間で沢山見て、聞いて、見つける。

経済学部
関

公認心理師の資格を頑張る取る

教育・心理学部
心理学科
TSUTSUI

日本福祉大学で福祉と経済を学んでいく中で世の中には今のような人がどんなことを困っているのかを正しく理解したいです。

経済学部
宮坂 練

講義や授業を通して充実した学生生活を送る

スポーツ科学部
平澤 和弥

社会福祉士と精神保健福祉士のW取得！

社会福祉学部
人間福祉専修
熊谷

このような状況でまだ慣れない部分もありますが、新しい仲間との出会いがあるので、お互いに協力し合いながら4年間頑張りたいです。

教育・心理学部
保育幼児教育専修
木村 菜々美

信頼される理学療法士を目指す！

健康科学部
理学療法専攻
松崎

学びに積極的に
なりたいです！

教育・心理学部
学校教育専修
猿田

建築だけではなく福祉の分野も学び、2つの分野で活躍していけるようになりたい。

健康科学部
建築バリアフリー専修
宮本

保育の勉強を頑張るやりたい。

教育・心理学部
保育・幼児教育専修
神田

歴史ある「ふくし」の総合大学で 社会福祉を学んでみませんか？

日本福祉大学 社会福祉学部
准教授 浅原 千里

社会福祉学部は、1957年日本福祉大学創立時からの伝統ある「看板学部」で、全国各地から学生が入学します。その背景には2つのことがあると考えます。

1つは社会福祉の知識と技術を身につけた卒業生が全国で活躍しており、「日福(にっぶく)」の評判が口コミで広がっていることです。もう1つは、社会福祉専門職を養成するカリキュラムが充実しているところでしょう。そこでこの欄では、「日福」社会福祉学部は社会福祉専門職をどのように育てているのかをご紹介します。

社会福祉専門職をソーシャルワーカーと呼びます。社会福祉学部では「社会福祉士」「精神保健福祉士」という国家資格の取得をめざす中で、ソーシャルワーカーを育てています。これらの国家資格を取得するには、大学でたくさんの専門科目の単位を取得したうえで国家試験にも合格しなければなりません。決して楽な道ではありませんが、社会福祉学部では多くの学生がチャレンジしています。

学びの過程で、学生に最も大きなインパクトを与えるのが「実習」です。社会福祉士養成課程の「ソーシャルワーク実習」は、約1か月にわたり福祉施設・事業所で、福祉・介護サービスを利用される方々やそのご家族、地域住民の方々、専門職の方々と関わりをもちながら、ソーシャルワーカーとして人々の暮らしをいかに支援していくか、実習生として実践しながら学んでいきます。

この実習は3年次にかけて実施しますが、そのための事前学習は約1年前から開始します。なぜこの実習のために多くの時間をかけるのかというと、高齢者・障害者の生活支援、児童家庭福祉、教育現場、医療福祉、地域住民の活動を支える取り組みなど、いずれの現場においてもソーシャルワーカーに必要とされる考え方や知識、スキル(専門用語で「ソーシャルワークの共通基盤」といいます)を身につける重要な科目だからです。

このソーシャルワーク実習だけでも学生にとっては、人生の一大イベントと言える経験です。しかし、そこからさらに精神保健福祉士の資格取得をめざして「精神保健福祉援助実習(人間福祉専修・医療専修の学生対象)」を行う学生、4年次に設定している「医療ソーシャルワーク実習(医療専修の学生対象)」、「ソーシャルワーク専門実習(全専修の学生対象)」、「スケー

ルソーシャルワーク実習(子ども専修の学生対象)」を通して、専門性をさらに上乗せしようとする学生もたくさんいます。このように「日福大の社会福祉学部」のカリキュラムは、実習を通して人々の暮らしや現場のとりくみを知ることで、さらに問題意識を深め、もっと現場で学ぼうとする意欲を掻き立て、学びたい学生はどんどんチャレンジできるしくみになっています。

そしてもう1つ、社会福祉学部の実習教育を支えるしくみとして「メンター・システム」があります。ソーシャルワーク実習を終え、4年次に「実習指導支援演習(全専修の学生対象)」という科目を履修する学生が、これから実習の準備にとりかかる2年生の「メンター」となって、実習生としての心構えや学び方、ソーシャルワークの視点を身につけるためのサポートをします。

具体的には、2年生の学習の深まりをみながら、ディスカッションで一緒に考え、問いかけ、助言をします。そして、このような2年生との関わりについて、担当教員やメンター仲間とともにふりかえることで、ソーシャルワーカーの人材育成技術の一つ「スーパービジョン」のスキルを身につけています。

みなさんも「日福(にっぶく)社会福祉学部」の専門職養成カリキュラムのもとで、一緒に学びませんか？



実習科目	実習先の例
ソーシャルワーク実習	高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉の現場
精神保健福祉援助実習	精神障害者福祉の現場、精神病院・診療所
医療ソーシャルワーク実習	病院・診療所
ソーシャルワーク専門実習	社会福祉協議会、地域包括支援センター、児童家庭支援センター、障害者地域生活支援センター
スクールソーシャルワーク実習	小・中学校、教育委員会



←浅原先生

「←メンターのみなさん(長野県出身の学生もいます)」



はじめてのふくし
-ふくしって何だろう?-

ふつうのくらしのしあわせ

「ふくし」という言葉から、頭にうかぶものは何でしょうか。ボランティア、お年寄りのお世話でしょうか。それとも耳の不自由な人のための手話通訳でしょうか。どれも間違っていないと思います。しかし、「ふくし」の世界や仕事はもっと広いのです。

今年はコロナウイルスの影響で、多くの皆さんが今までの日常とは違った生活を強いられたのではないのでしょうか。このような状況で、改めて今までの日常がいかに恵まれていたのかを考えたり、将来を不安に思ったり、苦しんでいる人に想いを寄せたり、大切な家族のことを心配したり・・・と様々な想いを抱いたことと思います。まさにその想いこそが「ふくし」の第一歩。

「ふくし」の仕事は、人が快適に生きられるように社会的な支援をすることです。すべての人びとの「いのち」を大切に、「くらし」を豊かにして、「いきがい」を見つけることを支えるのです。

本書では「福祉」を「ふくし」と表記します。「ふつうのくらしのしあわせ」。社会福祉の分野だけではなく、私たち一人ひとりの暮らしがしあわせになるように、広い意味を持たせたいと考えています。

ふくしに関心のある高校生だけでなく、中学・高校の授業、社会福祉施設での研修など、幅広い場面でご活用いただいております。在庫のある限り配布させていただきますので、ご希望の方は松本オフィスまでご連絡ください。



はじめてのふくし

日本福祉大学

ふくしに興味をもったら、読んでみよう!



利用者さんの笑顔や「ありがとう」をエネルギーに

社会福祉法人木曾社会福祉事業協会
障がい者支援施設 上松荘

支援員 野尻 美沙さん

(子ども発達学部心理臨床学科2014年度卒)
※現 教育・心理学部 心理学科



地域唯一の障がい福祉の拠点で

私の勤務している障がい者支援施設上松荘は木曾郡で唯一障がいに「特化」した、支援が多く必要な方が生活する施設で現在40名ほどが生活されています。また、法人全体でも児童養護や就労支援、相談支援など多岐にわたる業務を担っていて、のべ1,000人以上の方とかかわりを持っています。地域で生活する障がいのある方やそのご家族が安心できる「障がい福祉の拠点」、上松荘はその中心地ともいえる場所になっています。

職務内容はそこで暮らす方の食事介助や入浴介助など生活全般を支援していますが、介護職に近い部分もあるので、単純に支援だけでは済まないこともあります。介護技術の向上や、大学で特別支援学校教諭免許取得の際に学んだ障がい児の事についての知識が役に立っています。



実際には、書けないような困難な事例も多々あります。特に、「強度行動障がい」に関しては今現在も奮闘しています。そんな上松荘だからこそ「チームワークでの支援」が大切だと実感しました。優しいだけでなく、しっかり指導してくれる先輩や法人内の頼りになる職員が多く、職員間のコミュニケーションと、利用者さんの想いを第一に考えて寄り添った支援を見ては学び、実践してきました。私自身も強度行動障がいの専門知識を研修により習得し、実践しています。関わった方が笑顔を見せてくれた時には福祉っていいなあと再確認できました。今では少し成長できましたし、「障がい者支援なら私たちに任せてください！」と言えるようになりました。

地元である上松町に就職するということ

私は職種の理想を追求し都市圏で働くか地元に戻るか、就活で悩んでいました。元々障がいのある方の生活を支援できる職に就きたいと思っていた矢先、実家の方でショックな出来事が起こりました。「もう少し家族の近くにいたら」と思っていたところに「地元にもこんな施設があるよ!」と教えていただいたのが上松荘でした。それと同時に地元へ戻るという気持ちも固まりました。

地元の友人と休日のご飯を食べたり、旅行やライブに行ったりして過ごせることが、想像以上に安心してきてストレス発散できると実感しています。今はコロナ禍の影響でそれが出来ていませんが、もし、都市圏や木曾郡を離れて同じ職種に就いていたら・・・と考えると、個人的に選択は間違っていないかと思っています。

福祉を仕事として考えている皆さんへ

この仕事は決して楽な仕事ではありません。利用者さんたちのために何かしたところですぐに見返りがあるわけでもないです。でも、だからこそ利用者さんの笑顔や「ありがとう」の一言が心にしみわたります。



この体験はぜひ実際に味わってみたいですね。私たちと一緒に笑顔を共有しましょう!



ありがとう

コロナに負けるな! つなごう同窓生のエールボタン!

最前線で働く人にエールを!

2020年4月、コロナウイルス感染症拡大の影響で、緊急事態宣言が発令されました。多くの方が自粛を余儀なくされている中、最前線に立ち懸命にコロナ感染症と戦ってくれている方たちがいます。その方たちに感謝の想いを届けるため、全国各地の本学地域同窓生によるエールのボタンが繋がりました。

エールは日本福祉大学地域ブロックセンターのFacebookで連日紹介され、北は東北地方から南は九州地方までの総勢50名以上の同窓生がメッセージを贈りました。

本学同窓生の中には、実際に病院や社会福祉施設に勤め、最前線で働いている方が多いこともあり、同窓生同士の絆、日福で培った想いを確認するべく、「感謝」「ありがとう」「力を合わせて乗り越

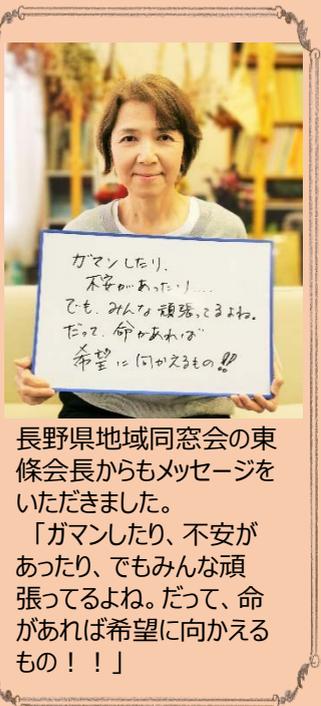
えよう」など力強くあたたかいメッセージが贈られました。長野県内の同窓生からもたくさんのメッセージが届き、下記Facebook内で紹介されています。

コロナ感染症による厳しい状況はまだまだ続いています。最前線で命を守ってくれている方たちを想い、私たち自身も引き続き感染予防に努めていきましょう!

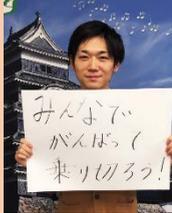
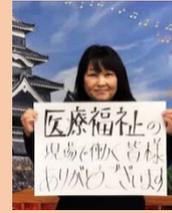
日本福祉大学地域
ブロックセンター
Facebook】



<https://www.facebook.com/NihonFukushiUnivBC>



長野県地域同窓会の東條会長からもメッセージをいただきました。「ガマンしたり、不安があったり、でもみんな頑張ってるよね。だって、命があれば希望に向かえるもの!!」



教えて先輩!

初めてのひとり暮らしから1年!

日本福祉大学に入学し、ひとり暮らしを始めて一年が経ちました。最初の頃は不安も大きかったのですが、一年経った今ではひとり暮らしならではの楽しみを持てる余裕もでき、自分自身の成長を感じることもたくさんあります。今回は、そんな私の一人暮らしをご紹介します。

実家では自分一人の部屋を持っていなかったのですが、自分の部屋に友だちを呼んで遊ぶことなど、ほとんどありませんでした。ひとり暮らしを始め、休みの日に友だちを呼んでたこ焼きや餃子パーティーをしたり、お菓子作りをしたり出来るのがとても新鮮で楽しいと感じています。大学周辺には日本福祉大学の学生専用の指定アパートが多くあるので、気軽に友だちを招いたり、すぐに行き来ができるのが良いところであり、安心できる部分でもあります。

ひとり暮らしでは、今まで親がやってくれていたことを全て自分でやらなければいけないというプレッシャーもありましたが、身の回りのことを毎日こなしていくことで確実に出来るようになり、自分自身でも成長を感じています。時間を見つけて部屋やトイレ、お風呂の掃除、洗濯、自炊など、勉強と両立しながらやるのは大変な部分もありますが、ひとり暮らしの苦難を共感したり、励まし合ったりすることができる友達が近くにいることは本当に心強く、気持ち的にも安心して生活ができるようになりました。

唯一大変なことを挙げると、暑さに加えた「湿気」です。長野県ではあまり感じたことがなかったので、1年生の時は悩まされました。そのため夏はカビ対策が欠かせませんが、自分なりに工夫しながら、これからもひとり暮らしを楽しんでいきたいと思います!



社会福祉学部 社会福祉学科 医療専修 2年
西村 舞佳 さん(伊那弥生ヶ丘高校出身)

NIPPUKU NEWS

NEWS. 1

福祉用具 アイデアコンテスト募集

ご飯を食べたり、歯磨きをしたり、お風呂に入った
り、服を着たり、何気ない日常の活動の中で、
「もしも手が不自由だったら…」
「もしも足が不自由だったら…」
「もしも耳が不自由だったら…」
どんな不便なことがあるでしょうか。



もっと快適に過ごせるような「もの」や「サービス」
があれば…と考えたことはありませんか。
日本福祉大学 健康科学部では福祉機器や福祉
用具、ユニバーサルデザイン、障がいの有無に
かかわらず利用者ニーズに配慮したサービス、
誰もが快適に暮らせるためのアイデアを募集して
います。ぜひ、高校生のあなたのアイデアをお聞
かせください! ご応募お待ちしております。
詳しくは下記URLをご覧ください。

【自由課題】

高齢者、障がいのある人、妊婦さん、幼い子ども
たちなど
誰もが快適に暮らせるための「もの」や「サービ
ス」の工夫

応募締切: 2020年9月30日(水)必着



ウェブサイト:

<https://www.n-fukushi.ac.jp/fkidea/index.html>

NEWS. 2

NIPPUKU 365 DAYS 公開中!!



今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、進学相談会、
オープンキャンパスが中止となり、進学を考えている高校生の皆さんにはご不便、ご迷惑をおかけしております。
このような状況の中、私たちが大学の情報を少しでも伝えたい!
日本福祉大学のことを知って欲しい! という想いで、今回本学HP
の受験生サイトで「WEB OPEN CAMPUS」を開催し、各学部
の特徴や入試についてご紹介しています。中でも、おススメは地方出
身の在学生にスポットを当てた NIPPUKU365 DAYS です!
美浜町での一人暮らしや大学
での学び、課外活動など学生の
リアルな日常をお伝えしていま
すので、ぜひ一度、ご覧ください。
長野県出身学生も登場しています!



NEWS. 3

日福BCオリジナルエコバッグ完成!

「SDGs」、もうご存知ですね。
2015年9月の国連サミットにおいて採択
された「持続可能な開発のための2030
アジェンダ」に記載された国際目標です。
日本国内でも企業・団体・組織、さまざま
なところでSDGsに基づいた取り組みが行
われています。全ての人それぞれの立
場からこの目標達成のために行動するこ
とが求められている今、日本福祉大学地域ブロックセンターでも身近な
環境問題から取り組みをと考え、今回、エコバッグを作りました。 A4サ
イズがしっかりと収まる大きさなので、学校のちょっとした荷物やコンビニ
でのお買い物などに便利。
進学相談会をはじめ、資料を配布する際にお渡ししていますので、さまざま
なシーンで使っていただけると嬉しいです!





	入学試験区分	日程	出願期間	試験日			合格発表
				前期	中期	後期	
総合型選抜	スポーツ分野入学試験	前期 中期 後期	前期：9/24（木）～10/5（月） 中期：11/24（火）～12/2（水） 後期：1/25（月）～2/3（水）	10/24（土）	12/13（日）	2/13（土）	前期：11/2（月） 中期：12/18（金） 後期：2/20（土）
	A0入学試験						
	文化・芸術分野入学試験						
学校推薦型選抜	一般推薦入学試験	前期 後期	前期：11/2（月）～11/11（水） 後期：11/24（火）～12/2（水）	11/21（土） —	— —	— 12/13（日）	前期：12/1（火） 後期：12/18（金）
	指定校推薦入学試験	前期 後期	前期：11/2（月）～11/11（水） 後期：2/8（月）～2/24（水）	11/22（日） —	— —	— 3/6（土）	前期：12/1（火） 後期：3/13（土）
一般選抜	一般入学試験	前期 後期	前期：1/4（月）～1/23（土） 後期：2/8（月）～2/24（水）	2/3（水） 2/4（木） 2/5（金）	—	3/6（土）	前期：2/15（月） 後期：3/13（土）
	社会福祉学部スカラシップ入学試験	前期	前期：1/4（月）～1/23（土）	—	—	—	前期：2/15（月）
	大学入学共通テスト利用入学試験	前期 後期	前期：1/4（月）～1/25（月） 後期：2/8（月）～2/24（水）	—	—	—	前期：2/15（月） 後期：3/13（土）

CHECK!

2021年度入試に役立つ情報をお伝えします！

AO入試対策講座・個別相談会 in松本オフィス

いよいよ本格的な受験シーズン。受験生の皆さんも徐々に準備を進めている頃ではないでしょうか。AO入試での受験をお考えの皆さんを対象としたAO入試対策講座を松本オフィスで開催します。当日は「自己アピール書」「課題レポート」を作成する上でのポイントや、考え方、面接試験の対策を伝授いたします。また、出願資格にあたる「本学教職員との最低1回の面談」はAO入試対策講座の個別相談で行うことができます。入試のこと、学部学科での学び、大学生活のことなど何でもお気軽にご相談ください！

お申し込みは受験生サイトから⇒



日本福祉大学 入学広報課がお送りする「受験生応援ちゃんねる」。本学進学アドバイザーの田中良二が大学の入試制度や、受験を有利に進める情報活用法など、この道30年のノウハウを活かしてアツク楽しく解説します！

各高校においての講演等も承っていますので、お気軽に松本オフィスまでお問い合わせください！



【質問コーナー】受験生のお悩みをお答えします！ Part 1



【質問コーナー】受験生のお悩みをお答えします！ Part 2

大学案内、入試ガイド、 過去問題集をお届けします！

日本福祉大学の入試に関する資料をご請求の方は下記の大学ホームページ又は松本オフィスまでご連絡ください。



WEBオープンキャンパス配信中！

自宅にいながら大学見学！現在、本学HP受験生サイト内でWEBオープンキャンパスを開催中です！大学、学部の紹介はもちろん、地方出身学生の生活の様子まで、ぜひチェックしてください！



実はとっても近い、 日本福祉大学と長野県との 深いつながり

本学HPでご紹介している「日福と長野県」では、長野県内でのフィールドワークをはじめ、長野県にまつわる情報や日本福祉大学での学びを活かして活躍する卒業生の紹介をしています。



LINE 公式アカウント

ネット出願、出願期間の情報はLINEと受験生サイトを中心に告知していきます。またイベント情報、キャンパスライフ情報などもお届けします！



松本オフィスにて個別面談、 オンライン面談を承ります！

「大学や学部の詳しい説明が聞きたい！」「AO入試の教職員との面談がまだ…」などでお困りではありませんか？個別相談やAO面談など松本オフィスで承りますので、お気軽にお問い合わせください！



日福と
長野県



実はとっても近い、日本福祉大学と長野県との深いつながり。みなさんの周りにも日福の卒業生が活躍されているかも。

日本福祉大学 松本オフィス

〒390-0815 長野県松本市深志1-1-24・3F

TEL:0263-31-9011 FAX:0263-32-8018

開館時間：10:00～18:00（日・月・祝は休館）

MAIL: e-matsumoto@ml.n-fukushi.ac.jp



松本オフィスへご質問・ご相談はこちらのフォームから⇒

